

川西町といたら紅大豆!

11 住み続けられるまちづくりを



山形県立米沢興譲館高等学校2年

紅大豆って何?

- ・山形県川西町で育てられている地大豆
- ・山形おきたま伝統野菜に認定されている
- ・皮が赤い色をしており旨味が強く、甘みがあり、とても美味しい豆
- ・一般的に煮豆や紅大豆ご飯で食べられる



動機・目的

紅大豆を活用し、川西町の産業・観光の発展に貢献したい
背景：川西町の人口減少、少子高齢化

PR活動



川西町の発展

現状・課題

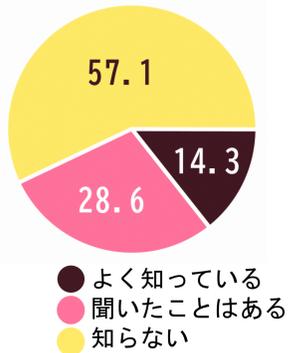
〈紅大豆の課題〉

- ・知名度が低い
- ・食べたことがない人が多い
- ・売っている店が少ない

〈紅大豆に関する活動〉

- ・かわにし森のマルシェ：「豆まつり」
- ・栄養大学：商品開発
- ・置賜農業高校：加工・生産の研究

Q.紅大豆を知っていますか?



(n=68 対象：パウンドケーキをふるまった興譲館の生徒)

活動①

・Instagramを活用した情報発信

写真・動画

Instagram

不特定多数の人へ

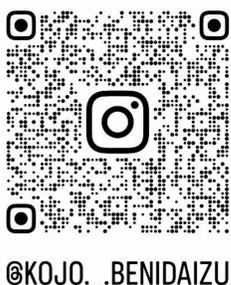
若者の利用率高い

歴史・栄養
レシピ投稿

- ・ポスターの掲示
ex)道の駅米沢、米沢駅、かわにし森のマルシェ
→フォロワー数増加のため



オリジナルキャラクター
ベニーナ



@KOJO._BENIDAIZU

アカウントは
こちらから



活動②

・校内試食会

9月24日 昼休み at米沢興譲館

〈内容〉

- ・90食の紅大豆パウンドケーキを興譲館生にふるまった
- ・アンケートの実施
→紅大豆の知名度が低かった。
実際に食べた感想をいただいた



・「紅大豆フェス～紅大豆の恵みを味わう会～」

1月13日(成人の日)13:00～15:00 at道の駅米沢

〈内容〉

- ・200食の紅大豆パウンドケーキの試食
→改良したレシピで当日の朝に作った
- ・レシピの載ったチラシの配布
- ・フォトスポットの設置



【良かった点】

- ・美味しいと言ってもらえた
- ・多くの人に食べてもらえた
- ・紅大豆を購入してくださる方もいた

【反省点】

- ・若者が少なかった
- ・直売もしたかった
- ・メディア取材に来てほしかった
- ・フォトスポットの需要がなかった

必要なプロセス、担当者との綿密なやりとり、
早め早めの入念な準備

→活動の様子→



←フォトスポット←

展望

- ・様々な方々にご協力いただいたおかげで、川西町の紅大豆を多くの人に知ってもらうことができました。
- ・今後も紅大豆を知ってもらうだけでなく、川西町の課題解決につながるような活動をしていきたい。

謝辞

本研究にご協力いただいたすべての方々に深く御礼申し上げます。
ありがとうございました。

川西町役場産業振興課 生産振興主幹 小形崇洋 様
川西町紅大豆生産研究会 事務局 渡部渡 様
道の駅米沢 担当者様 担当の先生方